

血液検査結果

氏名: エルム 花子 様

ID: 9999

日付: 2015/1/1

…分子整合栄養医学的見地より注意度の

重度

軽度

領域にある項目

検査項目	単位	検査結果			
		(今回) 2014/			
総蛋白	* g/dl	8.2			
A/G	*	1.4			
蛋白分画:アルブミン	%	63.8			
アルブミン	* g/dl	5.2			
蛋白分画:α1-グロブリン	%	2.3			
α2-グロブリン	%	7.5			
β-グロブリン	%	8.8			
γ-グロブリン	%	17.6			
AST(GOT)	* IU/l	14			
ALT(GPT)	* IU/l	10			
乳酸脱水素酵素	* IU/l	159			
総ビリルビン	* mg/dl	0.7			
直接ビリルビン	* mg/dl	0.1			
間接ビリルビン	* mg/dl	0.6			
アルカリフォスファターゼ	* IU/l	163			
γ-GTP	* IU/l	10			
コリンエステラーゼ	* IU/l	327			
CK(CPK)	* IU/l	117			
血清アミラーゼ	* IU/l	75			
尿素窒素	* mg/dl	13.4			
クレアチニン	* mg/dl	0.67			
尿酸	* mg/dl	3.7			
ナトリウム	mEq/l	140			
クロール	mEq/l	102			
カリウム	* mEq/l	4			
カルシウム	* mg/dl	10.1			
無機リン	* mg/dl	2.7			
マグネシウム	mg/dl	2.5			
血清鉄	* μg/dl	69			
不飽和鉄結合能	* μg/dl	382			
血清銅	* μg/dl	94			
血清亜鉛	* μg/dl	80			
Zn/Cu(計算)	*	0.85			
総コレステロール	* mg/dl	223			
LDL(計算)	*	130.80			
HDL-コレステロール	* mg/dl	82			

血液検査結果

氏名: エルム 花子様

ID: 9999

日付: 2015/1/1

…分子整合栄養医学的見地より注意度の

重度

軽度

領域にある項目

検査項目	単位	検査結果			
		(今回) 2014/			
中性脂肪	* mg/dl	51			
AI(計算)	* 0	1.72			
TG/HDL	* 0	0.62			
LDL計算/HDL	* 0	1.60			
遊離脂肪酸	* mEq/l	0.82			
グルコース	* mg/dl	74			
インスリン	μU/ml	4.2			
HOMA-R(計算)	* 0	0.77			
グリコアルブミン	* %	14.2			
フェリチン	* ng/ml	5.5			
CRP(定量)	* mg/dl	0.01			
白血球数	* /μl	4100			
赤血球数	* 万/μl	478			
ヘモグロビン	* g/dl	13.0			
ヘマトクリット	* %	42.2			
血小板数	万/μl	21.3			
MCV	* fl	88			
MCH	pg	27.2			
MCHC	* %	30.8			
網状赤血球数	* %	6			
白血球像:好中球	* %	45.6			
リンパ球	* %	44.2			
単球	%	5.1			
好酸球	%	4.1			
好塩基球	%	1			
尿蛋白定性	* 0	-			
尿糖定性	* 0	-			
ウレターゼン定性	0	±			
尿ビリルビン定性	0	-			
尿PH	0	5.5			
尿比重	0	1.023			
尿中ケトン体	* 0	-			
尿潜血反応	0	3+			
尿沈渣:赤血球	0	50~99			
白血球	0	1~4			
扁平上皮	0	1~4			
パプシゲン1	* ng/ml	57.6			
パプシゲン2	* ng/ml	6.5			
パプシゲン1/2比	* 0	8.9			
ビロ菌抗体:判定	* 0	-			
濃度	U/ml	3			

* 解析評価項目

血液検査解析結果

氏名:	エルム 花子 様
ID:	9999
日付:	2015/1/1

まとめ

総合評価D (要治療) 顕著な栄養障害が見受けられます。専門家、また専門カウンセラーへご相談の上、食事指導や栄養改善指導をうけられることをお勧めいたします。

医師やカウンセラー、又は各自の栄養管理の基、6ヶ月後に再度血液検査を行うことをお勧め致します。
定期的に血液検査値や自覚症状の変化を解析することで、常にあなたにあった栄養素量を確認できます。

血液検査解析結果

- ・重度の栄養欠乏が認められます。
- ・特に鉄、亜鉛といったミネラルの欠乏が重篤です。
- ・鉄欠乏性貧血の状態が認められます。
- ・タンパク質が足りていません。
- ・ビタミンB群の欠乏も認められます。
- ・低血糖症の所見が認められます。
- ・胃酸が十分に分泌されていないため、栄養素の吸収に問題があります。
- ・食生活の改善とともに、ヘム鉄、亜鉛、ビタミンB群のサプリメントを摂取することをお勧めします。

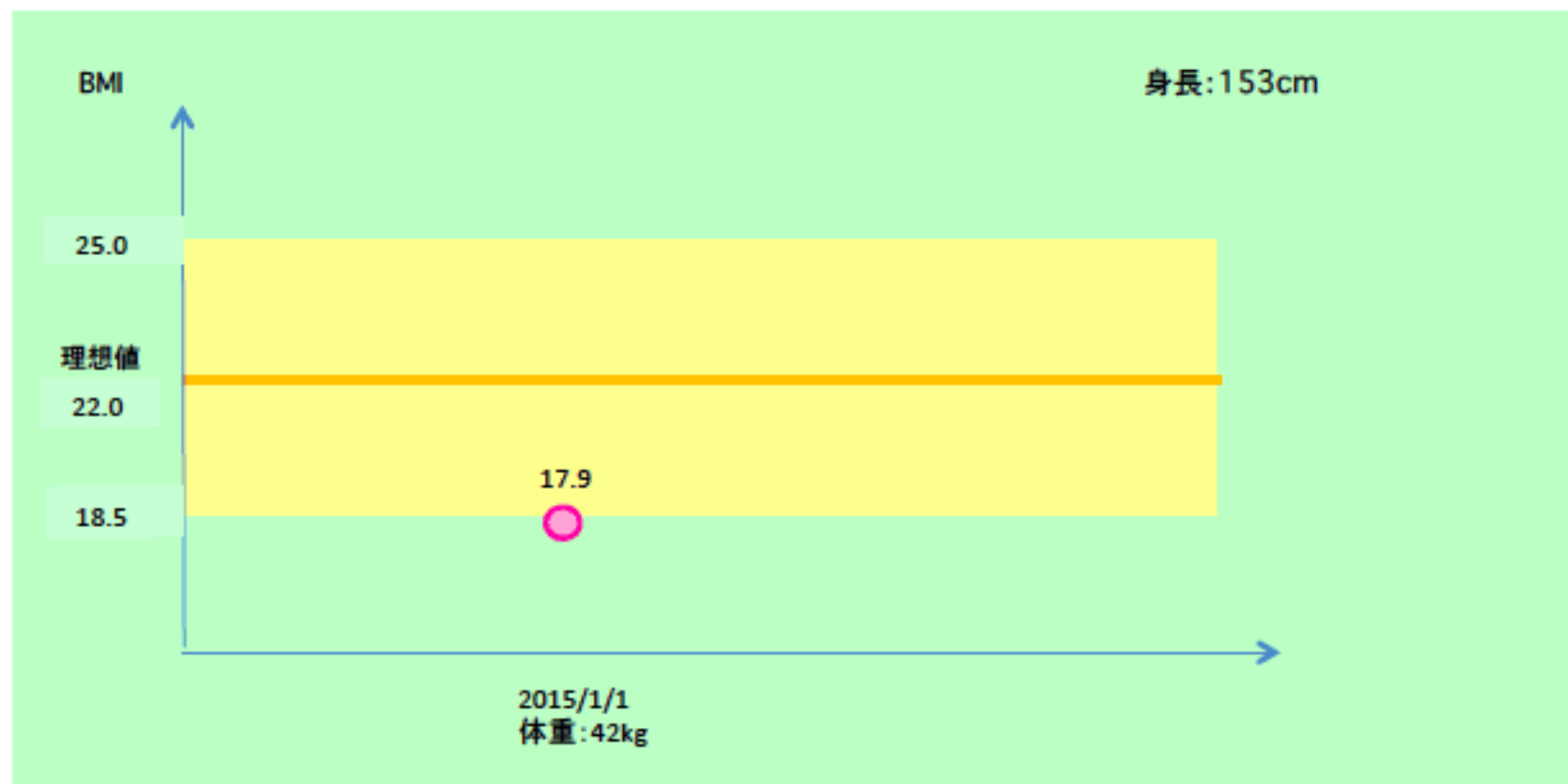
食生活改善指導

- ・低血糖症ですから、糖質の摂取を控えましょう。
- ・特に、砂糖などの甘い物は一切摂らないようにしてください。
- ・タンパク質の摂取が不足しています。
- ・お肉、お魚、魚介類、卵、チーズ、大豆製品など、タンパク質を豊富に含む食品を一日に最低500gは摂取するようにしてください。
- ・一度にたくさん食べると栄養素を十分に吸収しきれないでしょうから、食事の回数を増やしてこまめに摂るようにしてください。
- ・タンパク質は加熱しない方が吸収しやすいですから、生で食べられるものはなるべく生で食べるようにしてください。
- ・栄養素の吸収を良くするためにも、一口30回以上、良く噛んで食べるようにしてください。

身体情報

氏名: エルム 花子 様
ID: 9999
日付: 2015/1/1

BMIを用いて判定した肥満度の推移



問診時に測定したあなたの身長・体重をもとに算出した、BMIの記録です。

BMIについて

Body Mass Indexの略で、「体重と身長バランス」と「病気のなりやすさ」の関係を統計的に分析してつくられた健康指数です。BMI値が22のときに最も病気になる確率が低く、それより小さくても大きくても病気の確率が高くなるとされています。

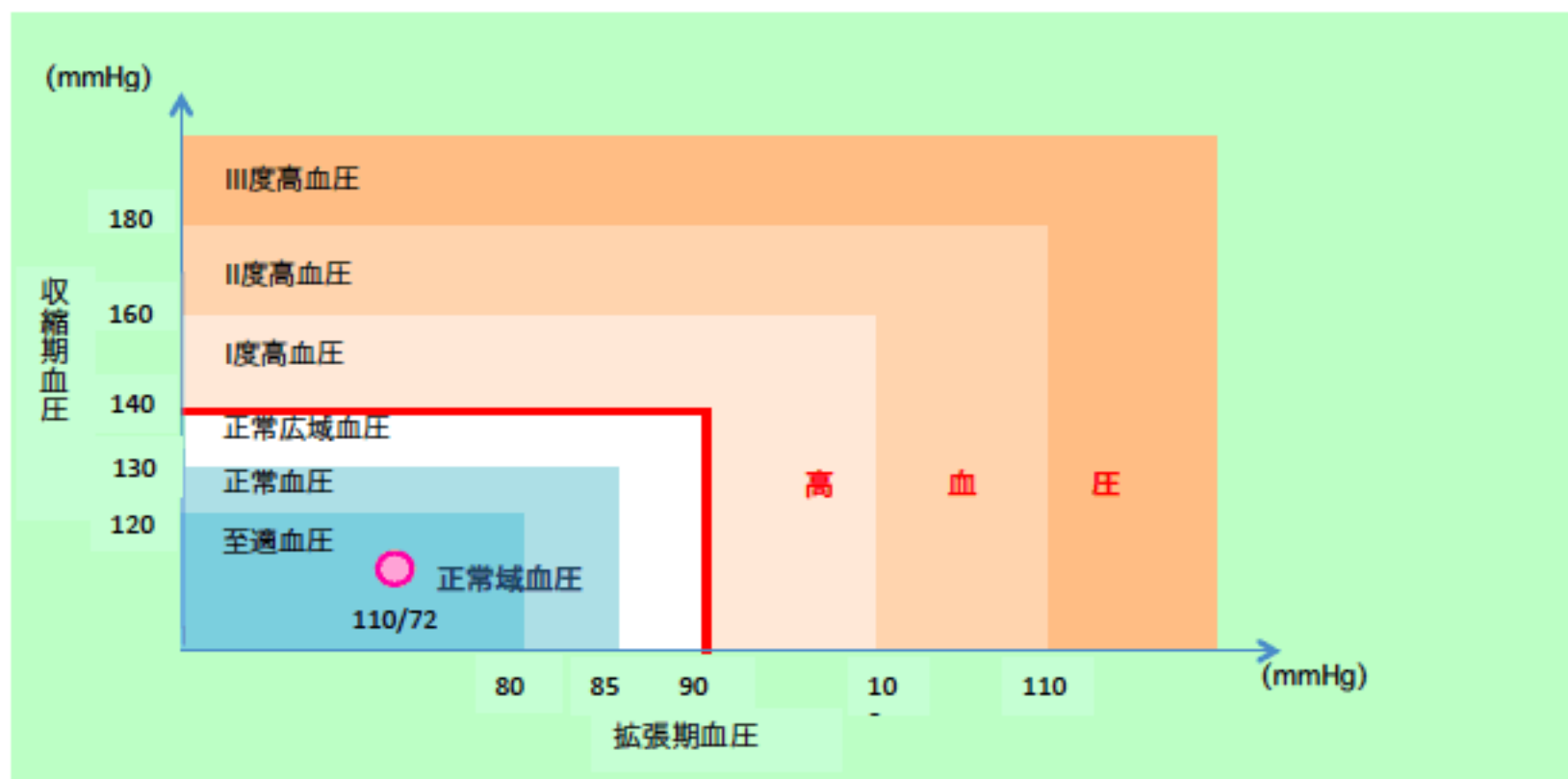
BMI値	判定	参考
18.5未満	やせ	骨粗しょう症などになりやすいとされています。
18.5~25	普通	
25以上	肥満	高血圧や糖尿病などの生活習慣病になる確率が高くなります。

日本肥満学会の判定基準に基づく

注) BMIは体内に含まれる脂肪の割合を判定している訳ではありません。

適切なBMI値でも脂肪の割合が高い「かくれ肥満」の恐れもありますのでご注意ください。

診察室血圧に基づく血圧の分類



注) 血圧の目標値は診察室では140/90mmHg未満、家庭では135/85mmHg未満です。

糖尿病や慢性腎臓病、冠動脈疾患などがある方はこれよりも目標値が低くなります。